

# 民主むろらん

日本共産党  
室蘭地区委員会

発行責任者  
毛利 敏  
室蘭市東町4-7-8  
電話(44)5573

## 消費税大増税・社会保障解体法を採決強行 世論とたたかい広げ 参院で廃案に

### 党地区委が民自公に抗議の街頭宣伝

「消費税10%は生活破壊。絶対認められない」と多くの国民の怒りの中で、民主、自民、公明三党は26日、消費税増税を10%に引き上げ、社会保障の大改悪を押し付ける「一体改革」関連法案の衆院本会議採決を強行、賛成多数で可決しました。

党室蘭地区委員会、常磐井茂樹市議、勤務員らが街頭に出て

「圧倒的多くの国民は増税に反対の声。参院で廃案に追い込もう」とよびかけま



した。

東町弥生ショッピングセンターと輪西ついでち前でピラ配布しながら、強行採決に抗議の宣伝をおこないました。

常磐井氏は、

「民自公3党による採決強行は、何よりも国民の民意に背き、自らの公約をじゅうりんするもの。そして社会保障

を解体に導く「新法」を審議しないまま強行。さらに「所得税の最高税率引き上げ」が政府案に盛り込まれていたものが「3党合意」で削除されるなど、消費税大増税だけがむきだしになった」と糾弾しました。そして

を解体に導く「新法」を審議しないまま強行。さらに「所得税の最高税率引き上げ」が政府案に盛り込まれていたものが「3党合意」で削除されるなど、消費税大増税だけがむきだしになった」と糾弾しました。そして

### 定例会 第2回市議会

## 党市議団提出の消費税増税撤回を 求める意見書案否決

第2回定例会は25日、平成24年度一般会計補正予算案、市税条例の一部改正案など17件と人事案件1件を原案通り可決し閉会しました。

意見書案は、地方財政の充実・強化を求める意見書等7件が議決され、党市議団が提出していた消費税増税の撤回を求める意見書案は、採決の結果少数否決されました。

党市議団は一般質問で生活保護問題や震災ガレキ問題・廃棄物処理施設の運営のあり方などの論戦を展



田村農夫成市議



常磐井茂樹市議

開しました。意見書案の採決に先立つ提案理由の説明に常磐井議員が登壇し、消費税は「経済と財政を破たんさせ、地域経済に打撃を与え」として、「政党・会派の垣根を越え、地域経済、市民生活を守るため賢明なる判断を」と訴えましたが、共産党の2名と室蘭ネットの1名が賛成したものの少数で否決されました。消費

増税に賛成する議員・会派からの提案理由に対する反対の意思表示はありませんでした。  
「市税条例の一部改正に反対」  
党市議団は、市税条例中一部改正についても反対討論を行い採決の結果、賛成多数で可決されました。反対討論で常磐井議員は「復興財源の本質は、復興を大義名分に庶民に所得税と個人住民税の負担を押しつけ大企業には減税となるもので、到底認められるものではありません」と述べ反対しました。

## 読者の声

### 「夏場の計画停電に疑問です」

高砂町 H氏

政府と北電は22日に、「夏の計画停電の概要」なるものを発表し、「大規模発電所の緊急停止など複数のトラブルが重なった場合」、7月23日〜9月にかけて1日1回、2時間程度の計画停電を実施するとのこと

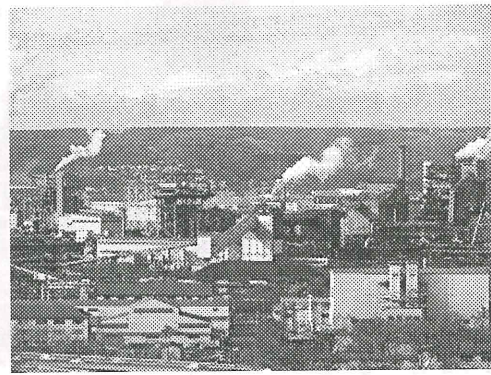
「北海道は原発がなくとも電力は足りる」と聞いたことがありますがどうなるのでしょうか？

# 鉄鋼革新懇がアンケート集約結果発表 年金改悪反対82% 財源は消費税以外で86%

鉄鋼職場革新懇が3月から取り組んでいた「生活・職場・要求」アンケート結果がこのほど集約され発表されました。その主なものを紹介します。

アンケートは450人に配布し175通が回収されました。その内訳は男84%、女16%で、年齢は20代34%、30代36%、40代13%、50代6%、60代以上11%です。雇用形態は正社員・正職員85%、出向・転籍(移籍)4%、パート・臨時・嘱託9%、

派遣社員1%です。今回の設問と回答の特徴は、賃金と労働条件とともに



に、原発稼働の是非、「税と社会保障の一体改革」の是非と財源対策など、焦眉の問題を含んでいました。原発稼働については、「続ける」13%に対し、「すぐなくす」37%、「10〜20年後に廃止」50%と87%が「廃止」を求めています。年金制度(複数回答可)では、「現状でも不十分なのにさらなる改悪には反対」82%、「給付減」「受給年齢引き上げ」「掛け金引き上げ」を容認する人はそれぞれ1桁台です。

また、年金財源(複数回答可)として、「消費税」は14%にとどまり、「ムダな公共事業をやめる」80%、「大企業、富裕層の増税」40%、「軍事費を削る」27%などとなっています。また、アスベスト問題では、「使われていた」27%、「わからない」59%と

なっています。なお、文書回答でも今の「政治」や「賃金」「仕事」などについて多くの意見が寄せられました。紙面の関係で割愛させて頂きました。アンケートの詳しい内容は、6月10日号の「高炉のハタ」に掲載されています。

## 「計画停電なしで大丈夫」と考えます 高砂町のHさん(1面)へのお答え

日本共産党は、政府・北電が電力不足を口実に泊電が電力不足を口実に泊電1・2号機を再稼働することには反対です。そして、猛暑でも道民の協力のもとに

ピークの対策をとれば「計画停電」しなくとも対応できると考えます。北海道の最大電力実績は一昨年の579万キロワット(1月)ですが、北電の泊原発1・2・3号機全体の発電量は207万キロワットです。北海道経済産業局が発表した道内の自家発電の総発電量は262万678キロワットあり(この中には、新日鉄室蘭製鉄所の最大10万キロワット、JX日鉱日石室蘭製油所の同5万キロワットも含まれる)泊原発以上の発電能力を持っていきます。この他に電源開発が10カ所の水力発電所で21万5800キロワットを発電し、北海道も8カ所の水力発電所を持ち7万940キロワットを発電しています。また、本州から海底ケーブルを

## かけあひ記

最近「フェイスブック」をはじめました。初心者マークですが、びっくりすることばかりです。

## ツイッターの呼びかけが 大きな力に

六月二十五日



日本共産党参議院議員 紙 智子

まず、はじめたとたん、一気に友達が広がりました。友達の登録をして、対象は、その範囲で情報交換になるのですが、一人の友達から、そのつながりへとどんどん広がる仕組みです。反応の速さも驚きです。「今日は、素敵な花を

みんなの近況も刻々と発信され、今、どんなことが話題になっているのか、地方議員の皆さんが何に取り組んでいるのかなどを

集会、デモに発展したのは、ネット社会の韓国でツイッターの呼びかけが大きいと聞き、いざ日本でもそうなるのかなと思って

たら、まさに今その変化がはじまっています。先週の総理官邸を包囲した「原発再稼働反対!」の四万五千人の市民の決起は、若者を中心に、子育て真っ最中のママたちや、サラリーマンなど「普通の人々」が、怒りを行動に移していることを示しました。「再稼働はダメなノグ!」「野田首相やめろ!」と暴走野田内閣にストップをかける行動を、政治のおおもとを変える行動に発展させたい!

使った60万キロワットの融通もあり、これを含め原発を除いた総電力量は624万キロワットとなり、「計画停電なし」で大丈夫という試算もあります。

日本共産党の島山和也さんは、5月9日北電に対して、「電力需給の全体像を、北電の電力供給力にとどめず、他の自家発電や他の電力会社からの電力融通などの供給力を含め明らかにすること」を求めています。が、北電は今だ発表していません。



## 気仙沼ボランティア募集! 7月4日から一週間

5月から気仙沼への震災ボランティアが再開され、室蘭地区は7月4日から一週間、3名の派遣を計画しています。活動は被災者の声を聞き、要求実現につながる活動や支援物資を届ける活動です。奮ってご応募ください。申込は、日本共産党地区委員会 ☎44-5573へ